

第1回教職センター運営委員会開催される

9月17日（木）に、第1回教職センター運営委員会が開催されました。これまでは、年に3回の開催で、第1回目は7月に行っていたのですが、新型コロナウイルスの影響で今年度は2回の開催とし、その1回目の開催がこの時期になりました。

多くの会議が3蜜を避けるために、いろいろ工夫して開催されているように、今回の会議はZOOMでの参加も可能な形で行いました。17名の委員のうち4名がZOOM参加で、あとは参加しての開催でした。ZOOMの併用の場合、資料の提示だけなら簡単にできるのですが、今回は人事に関わる投票もあったので、当日の朝まで念入りに準備やリハーサルを重ねました。当日は映像は上手く届いたのですが、音声聞きづらいということで、会場の発言者がその都度マイクの近くに移動しながら進めました。



議題は、「次年度の教職センター特任教員の人事」と、「秋学期教員・保育士採用試験対策講座開催について」で、報告が資料1～12でした。議題については質問・意見等はなく、提案通りに可決されました。また報告事項についても、すべて確認されました。さらに、「2019年度の教職センター年間活動記録集第4号」も配付されました。現在の状況下での会議運営の難しさを実感した開催でした。

相模原市への「合格」が相次ぐ

9月14日（月）に相模原市公立保育士試験の結果発表があり、本学から受験した3名のうち2名（子ども教育学科）が最終合格を果たしました。また、9月18日（金）には、相模原市教員採用試験の結果発表があり、小学校は本学から受験した2名（子ども教育学科）の両名とも合格しました。また、中学校家庭科は募集1名のところに、本学から受験した3名のうちの1名（健康栄養学科）が合格しました。



保育士試験は、3年前の8名合格を始めとして、毎年コンスタントに合格者を出していますが、小学校の合格者が複数であるのは初めてであり、中学校家庭科は昨年度に引き続いての現役合格という快挙を成し遂げました。教職センターとしてもサポートが結実し、嬉しい限りです。

相模原市にある大学なので、市内で卒業生が就職し活躍してくれることは、大学にとっても大きなセールスポイントになると思います。